

発行所

株式会社 FPシミュレーション

大阪市中央区平野町3-1-10 Tel:06-209-7678

編集発行人：税理士 三輪 厚二 Fax:06-209-8145

☞ 会社の安全性「自己資本比率」を分析しよう

Q：会社の安全性を見るため、「自己資本比率」を計算してみたいのですが、方法を教えてください。

A：会社の総資本に占める自己資本の割合を「自己資本比率」といい、企業体質の健全性がわかります。

(1)自己資本を出す

自己資本＝資本金＋法定準備金＋剰余金

(2)総資本を出す

総資本＝負債合計＋資本合計

(3)自己資本比率を出す

自己資本比率＝(自己資本÷総資本)×100

【分析】

- (1)自己資本は払込み資本金と内部留保ですので、返済する必要のない最も安定した資金です。欧米諸国に比べると、わが国ではこの比率が低いといわれています。
- (2)株式による資本金は配当という資金コストがかかりますが、内部留保はコストがかかりません。内部留保の多い自己資本の方が質的水準は高いことになります。
- (3)この比率は高い方がよいのですが、高すぎれば会社の機動力は衰える傾向があります。
- (4)この比率が40%以上なら優、20~30%は良、20%未満は自己資本が安定しているとはいえないでしょう。
- (5)自己資本比率の平均は、次のようになっています。

製造業…33 建設業…26 卸売業…29
小売業…46 飲食業…56

